

各ニーズ調査の回答状況及び 回答結果について（速報値）

令和3年11月16日
名 護 市

目次

- 1 市民アンケート調査
- 2 路線バス利用者アンケート調査
- 3 学生Webアンケート調査
- 4 区長アンケート調査
- 5 施設等ニーズ調査（アンケート・ヒアリング）

1. 市民アンケート調査

1.1 調査概要

(1) 実施概要

- 地域公共交通計画の策定に向けて、名護市民の移動実態 及び 公共交通（路線バス）の利用実態を把握し、課題を整理する。また、新たな施策の検討に向けて、各施策に対する市民のニーズを確認するため、以下の調査を実施した。

配布対象	： 18歳以上の市民 7,000人 名護市在住の方から無作為に選出
調査方法	： 住民基本台帳より抽出、郵送配布、郵送回収、又はWebアンケート
郵送日	： 2021年10月15日（金）
回収期限	： 2021年10月31日（日） 約2週間

(2) 回収状況

- 回収状況は以下のとおり。（速報値）

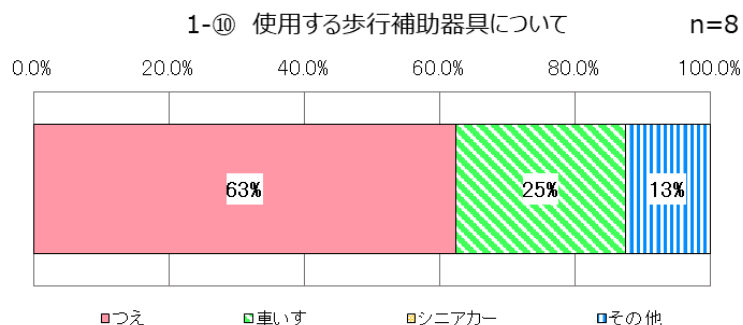
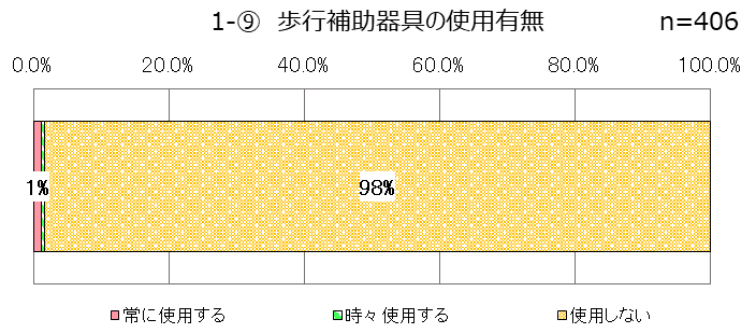
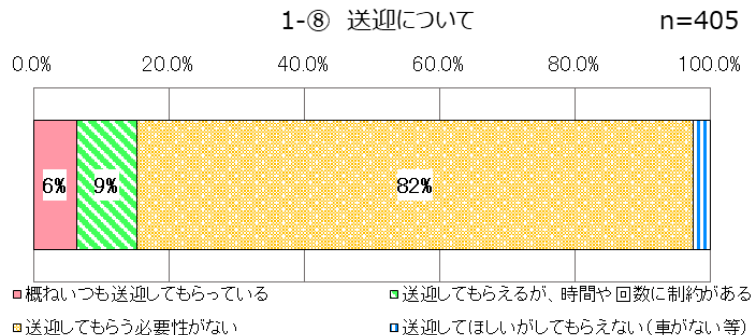
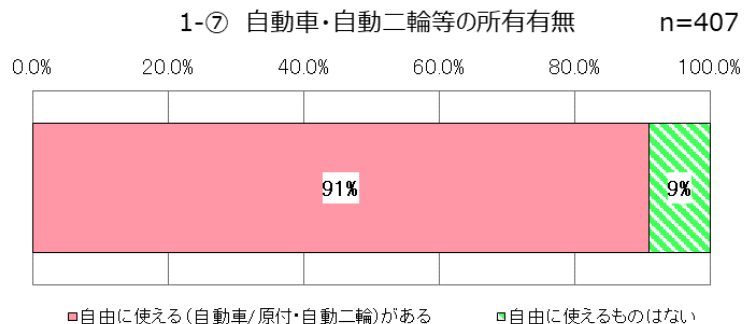
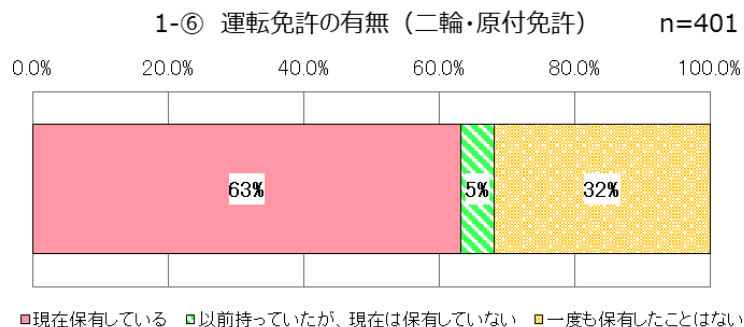
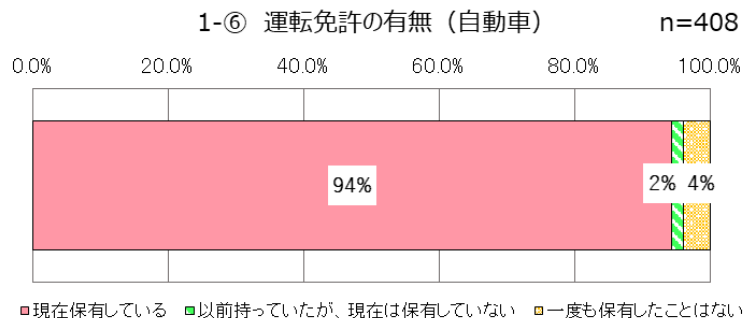
回収締切	： 2021年10月28日（木）
回収票数	： 約1,700票

1. 市民アンケート調査

1.2 集計結果

②運転免許等の保有・歩行補助器具の使用有無

- アンケート回答者の94%が運転免許を取得しており、自由に使える自動車または原付・自動二輪がある方は91%となっています



1. 市民アンケート調査

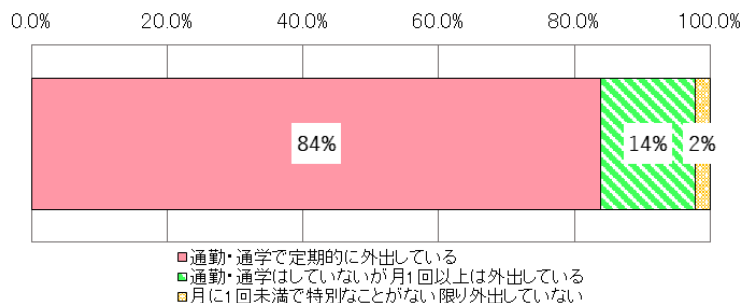
1.2 集計結果

③ 普段の外出状況

- 普段の外出で自動車を利用している人は86%となっており、その目的としては平日休日ともに買い物が最も多く、休日は娯楽・レジャーの割合が増え、18%となっています

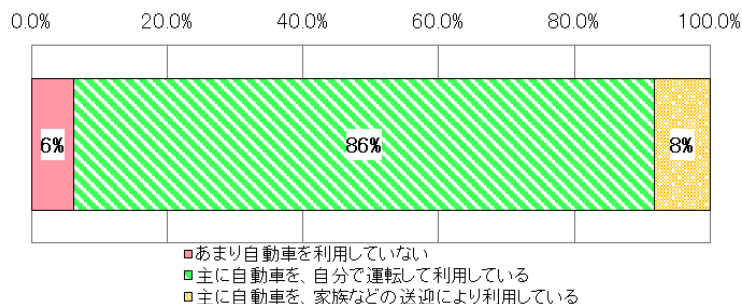
2-① 外出頻度

n=405



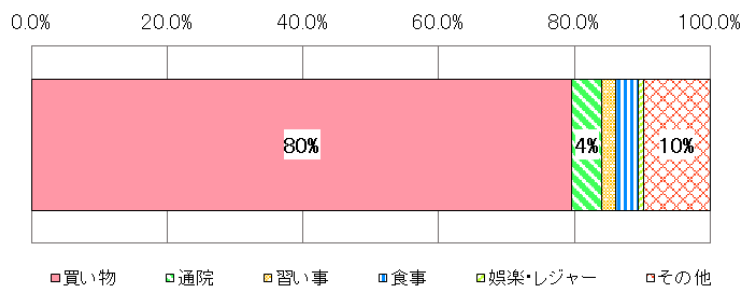
2-② 普段の外出で自動車を利用しているか

n=395



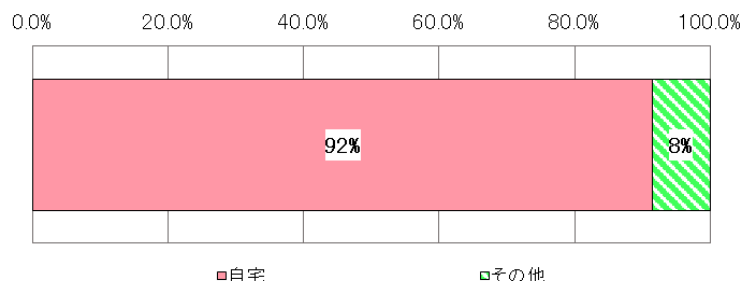
2-③_1 自動車を利用した際の目的（平日）

n=339



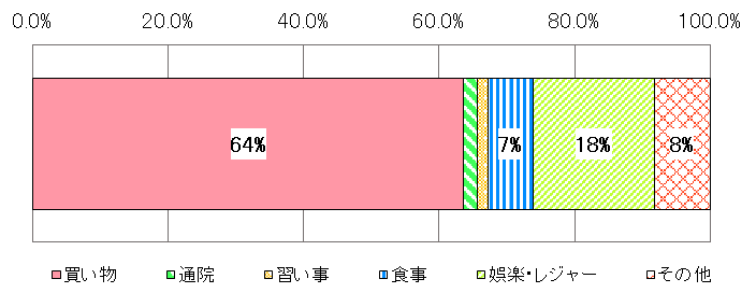
2-③_2 自動車を利用した際の出発地（平日）

n=354



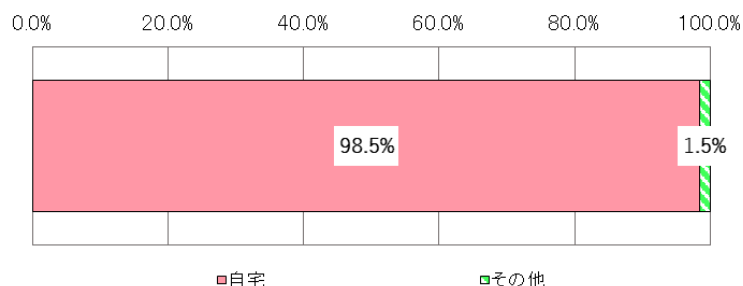
2-③_1 自動車を利用した際の目的（休日）

n=341



2-③_2 自動車を利用した際の出発地（休日）

n=344

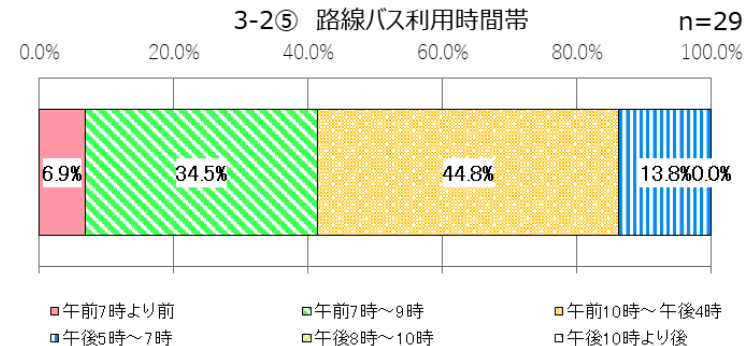
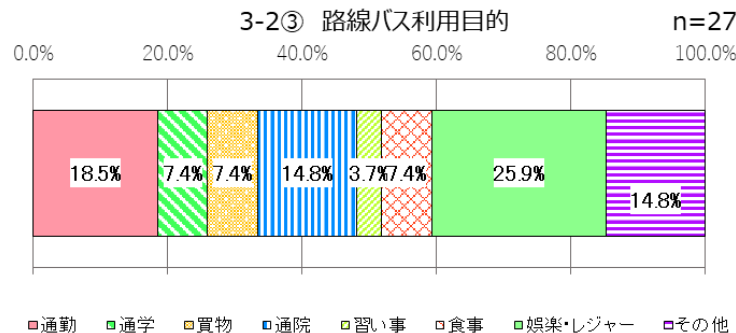
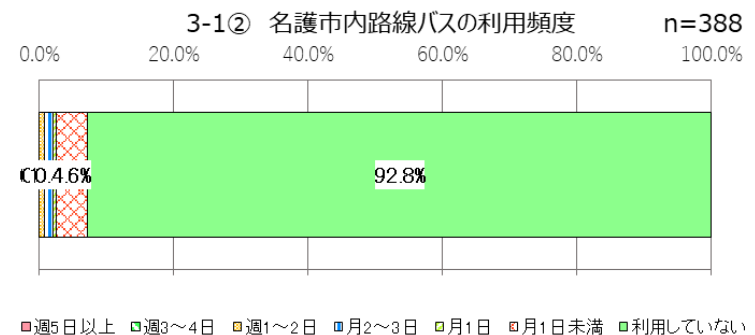
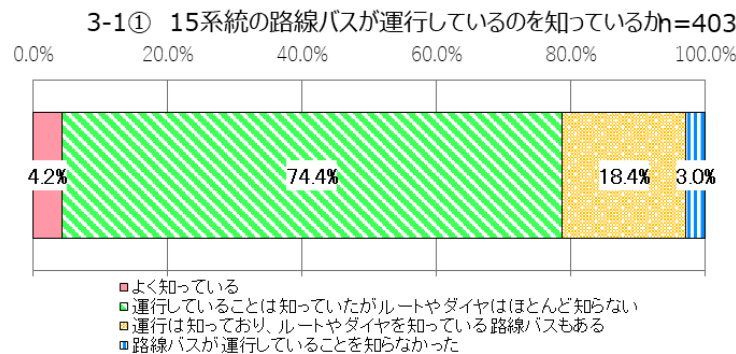


1. 市民アンケート調査

1.2 集計結果

④ バス交通について

- 路線バスの運行があることは知っているが、ルートやダイヤを知らない人が74.4%となっており、利用していない人が92.8%となっています
- 利用する際の目的では、娯楽・レジャーが25.9%と最も多く、次いで通勤、通院となっています



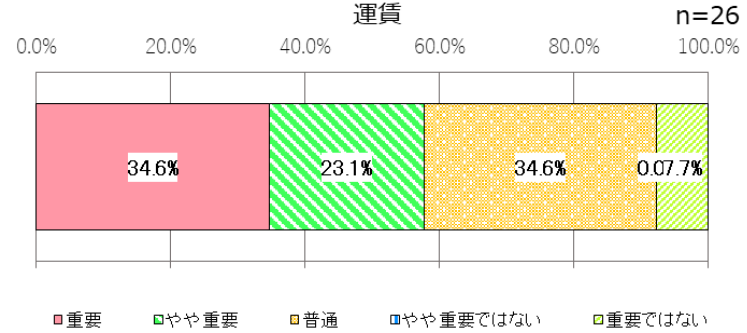
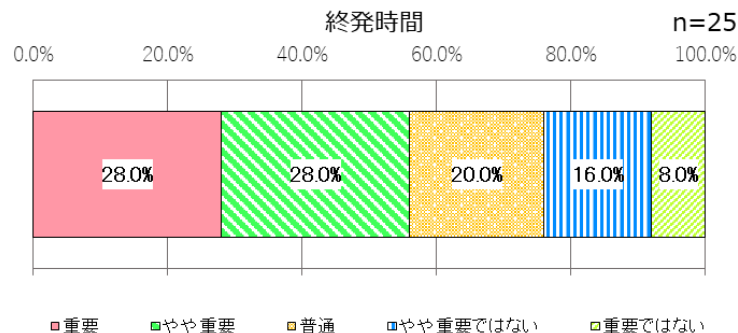
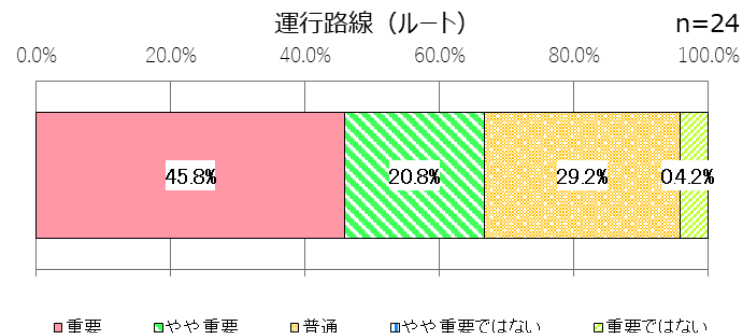
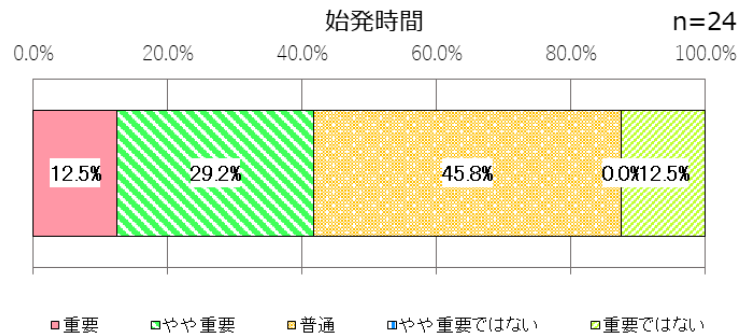
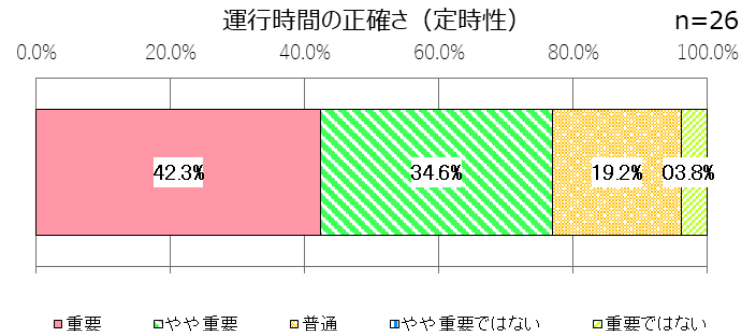
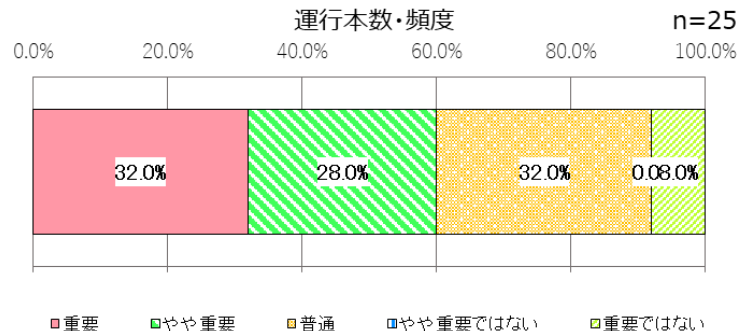
1. 市民アンケート調査

1.2 集計結果

④ バス交通について

- バスを利用する際の重要な項目として、運行ルート、運行ダイヤの定時性を重要、やや重要と考えている人が多く、始発時間に対しては、他の項目と比較すると重要と考えている人が少ない傾向にあります

【バス利用における重要な事項】



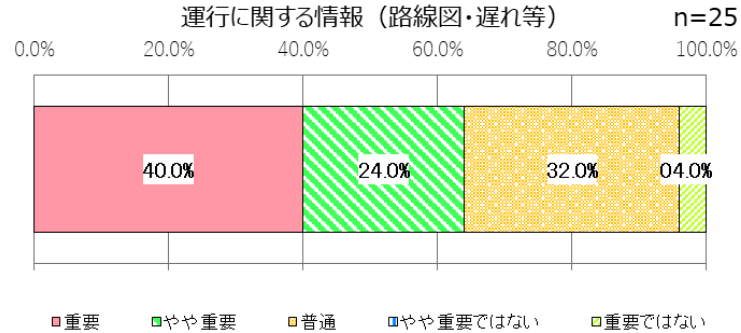
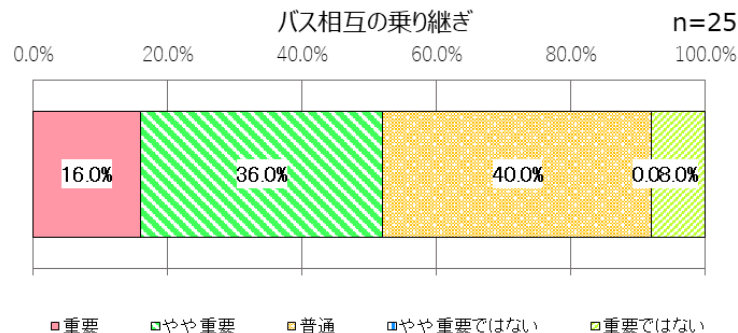
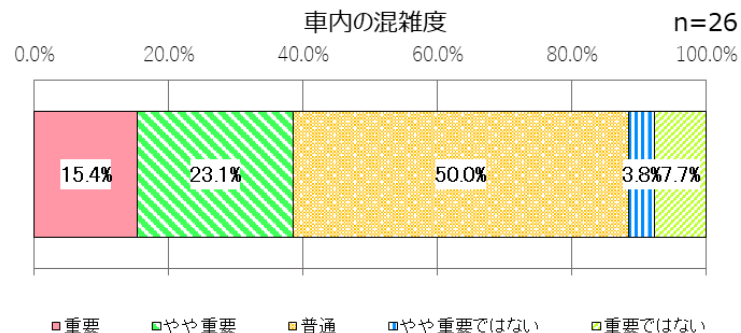
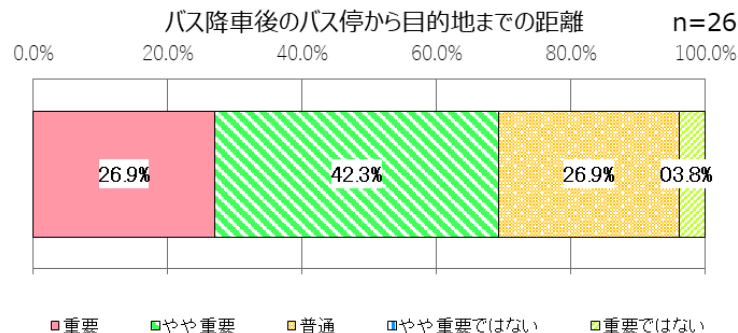
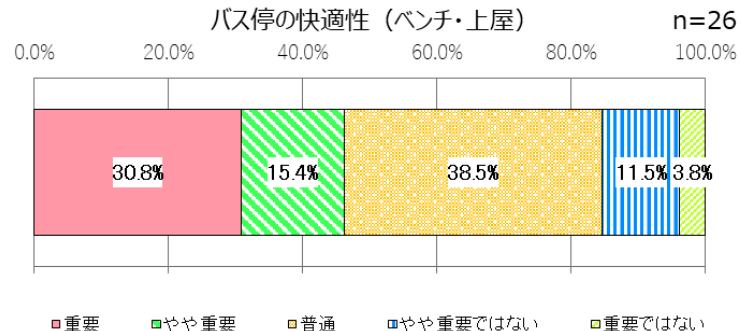
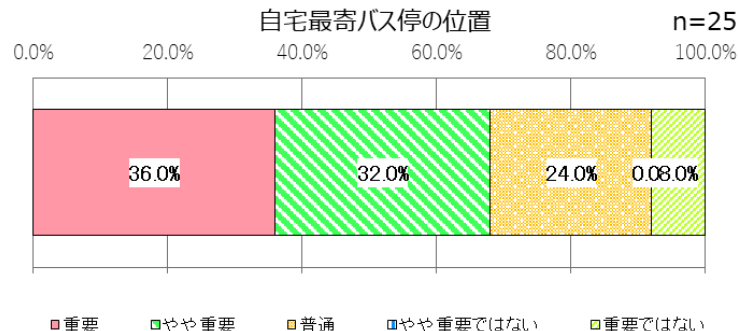
1. 市民アンケート調査

1.2 集計結果

④ バス交通について

- また、前ページのルート、ダイヤに次いで、自宅最寄バス停の位置や運行に関する情報提供（路線図・遅れ等）が重要な項目として考えられており、車内の混雑度やバス相互の乗り継ぎは低い傾向にあります。

【バス利用における重要な事項】



1. 市民アンケート調査

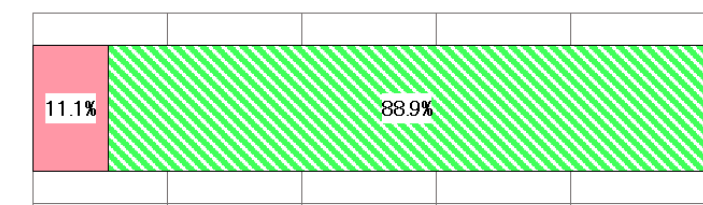
1.2 集計結果

④ バス交通について

- バスの乗り継ぎ利用をしたことがあるかたは11.1%となっており、乗り継ぎで重要なことは、商業施設等の施設乗り継ぎ拠点の整備がもっとも多い。

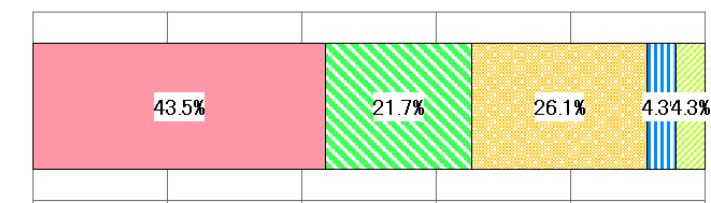
【バスの乗り継ぎ利用をする上での重要度】

3-2⑦ バスを乗り継いで移動有無 n=27



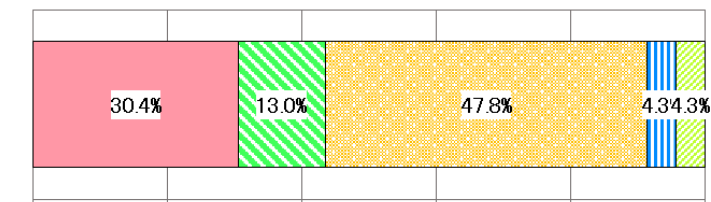
■ バスを乗り継ぎ利用したことがある ■ バスを乗り継ぎ利用したことはない

乗り継ぎを含むバス路線情報の提供 n=23



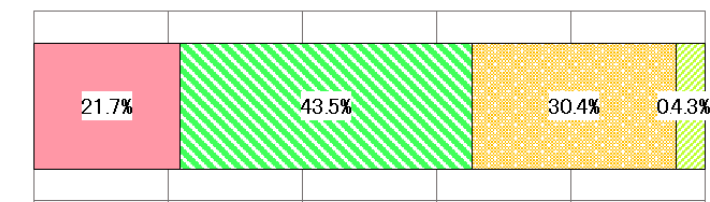
■ 重要 ■ やや重要 ■ 普通 ■ やや重要ではない ■ 重要ではない

バス停への上屋の設置 n=23



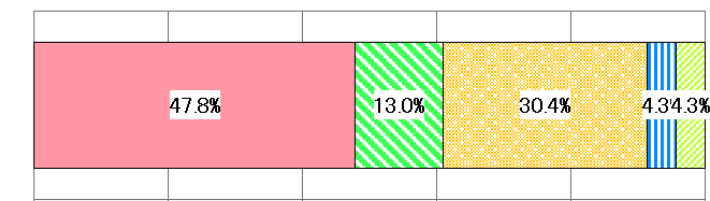
■ 重要 ■ やや重要 ■ 普通 ■ やや重要ではない ■ 重要ではない

乗り継ぎ可能な停留所の追加 n=23



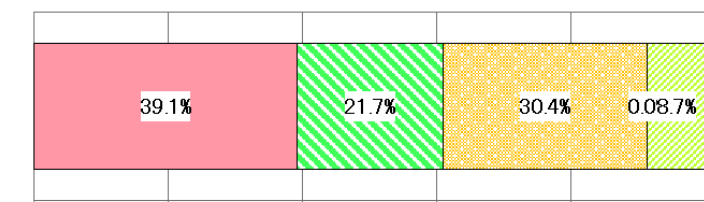
■ 重要 ■ やや重要 ■ 普通 ■ やや重要ではない ■ 重要ではない

商業施設等の施設乗り継ぎ拠点の整備 n=23



■ 重要 ■ やや重要 ■ 普通 ■ やや重要ではない ■ 重要ではない

乗り継ぎによる運賃の割引 n=23



■ 重要 ■ やや重要 ■ 普通 ■ やや重要ではない ■ 重要ではない

1. 市民アンケート調査

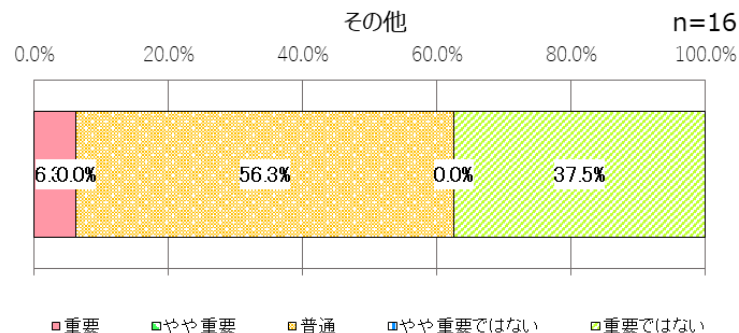
1.2 集計結果

④ バス交通について

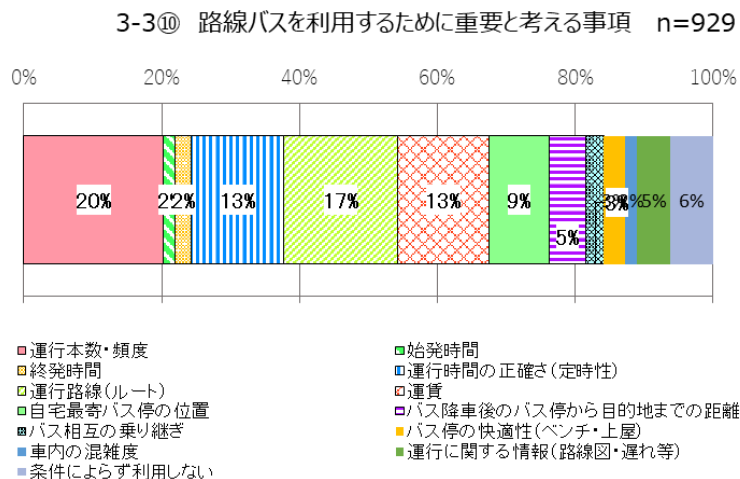
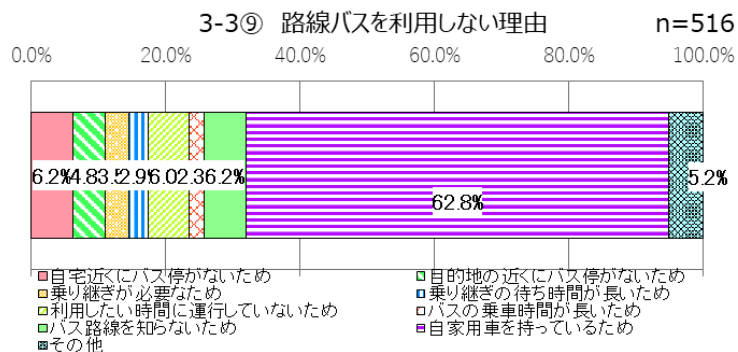
- 路線バスを利用するために重要と考える事項で最も多いのは、運行本数・頻度で20% となっています
- 一方でバスを利用しない理由としては、自家用車を持っているためが62.8%と最も高い理由となっています

【バスの乗り継ぎ利用をする上での重要度】

3-2⑧ バス乗り継ぎ利用を行う上で各項目の重要度(自由記述)	n=7
	回答数
交通カードの利用 (Suica等)	1
最終時間の設定	1
乗り継ぎの際の待ち時間	1
情報の周知	1
辺野古から名護市街に気軽に行けるようにしてほしい	2
特になし	1



【バスを利用しない理由】

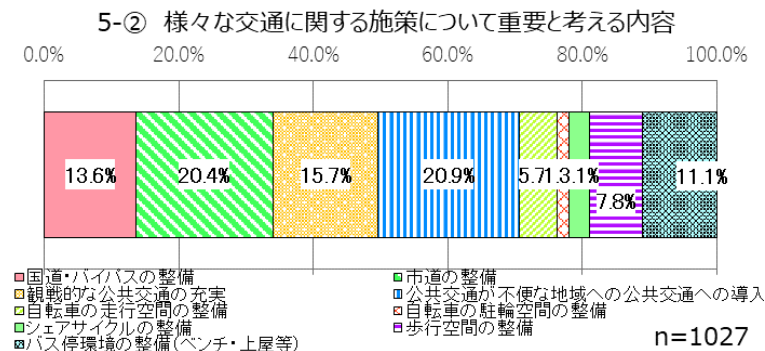
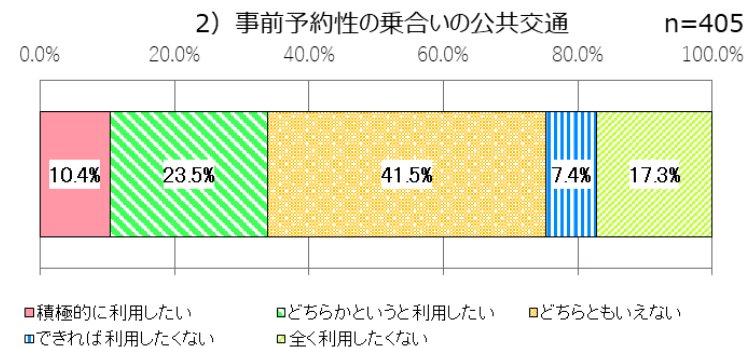
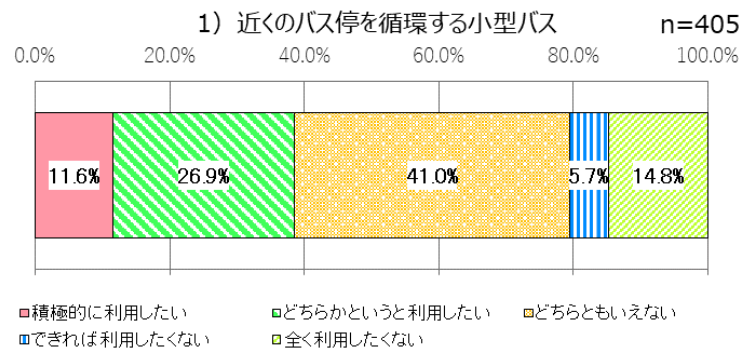


1. 市民アンケート調査

1.2 集計結果

⑤ 新たな交通施策について

- 新たな交通施策について、公共交通が不便な地域への公共交通の導入が20.9%と最も高く、次いで市道の整備が必要と考えている人が多い。



2. 路線バス利用者アンケート調査

2.1 調査概要

(1) 実施概要

- 地域公共交通計画の策定に向けて、路線バスの利用実態を把握し、課題を整理する。また、新たな施策の検討に向けて、各施策に対する市民のニーズを確認するため、以下の調査を実施した。

調査対象	： 名護バスターミナル、伊差川、県立北部病院 名護十字路、世富慶、高専入口の停留所利用者（乗降どちらも）
調査方法	： 大判はがきサイズの紙アンケートの配布により実施
配布日	： 2021年9月12日（日）、9月14日（火）

(2) 回収状況

- 回収状況は以下のとおり。（速報値）

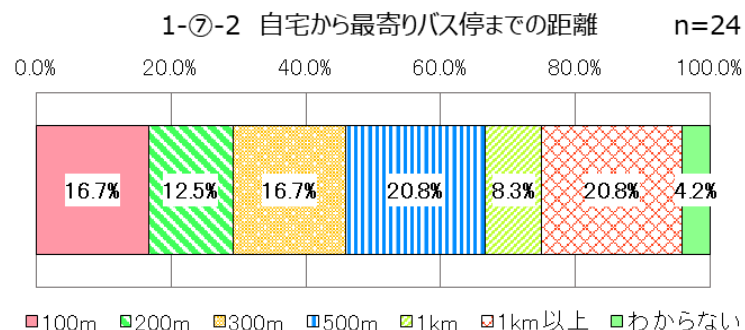
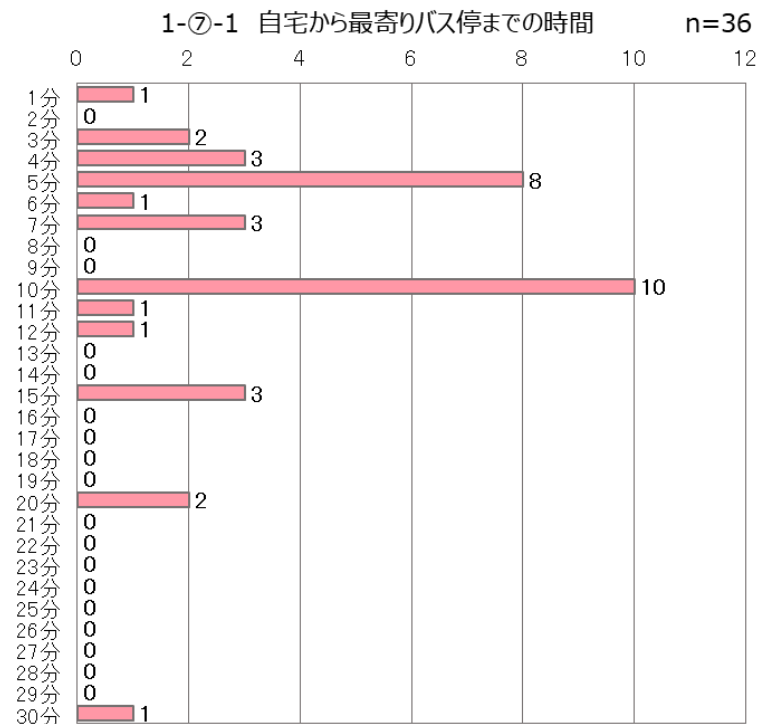
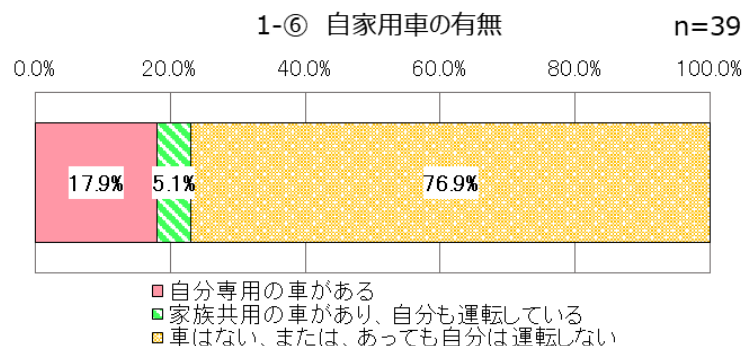
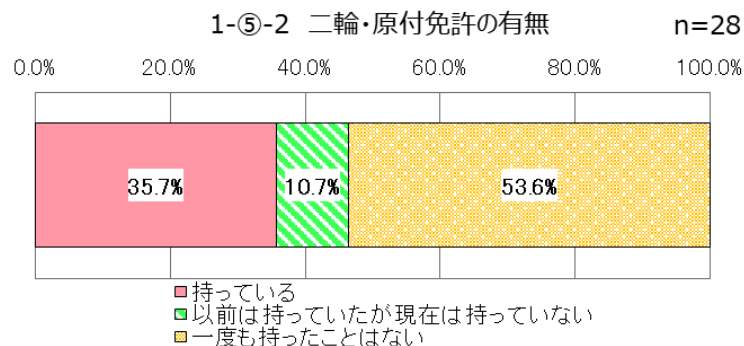
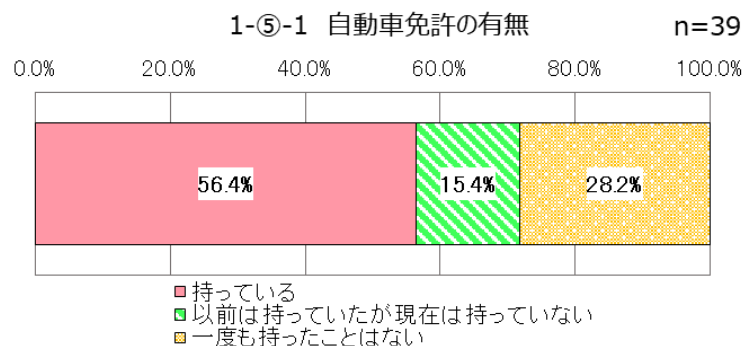
回収締切	： 2021年9月30日（木）
回収票数	： 41票

2. 路線バス利用者アンケート調査

2.2 集計結果

①属性

- 回答者の43.6%が運転免許を持っておらず、76.9%が車はない、または、あっても自分は運転しないと回答しています

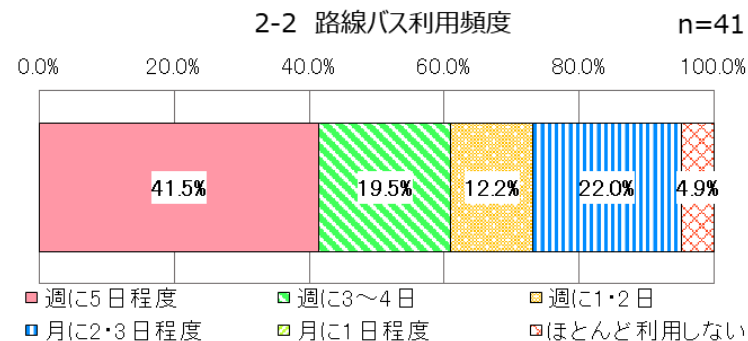
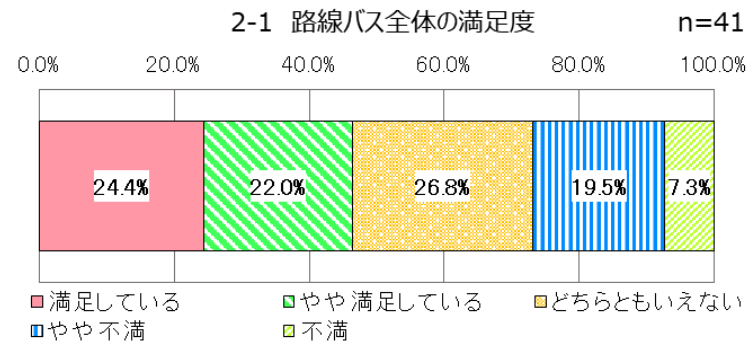


2. 路線バス利用者アンケート調査

2.2 集計結果

②名護市内の路線バスについて

- ・ 路線バス全体満足度として、46.4%の人が満足している、やや満足していると回答しています
- ・ 利用頻度は週5日程度利用する人が41.5%、週に3~4日利用する人が19.5%と定期的に利用する人が約6割程度となっています



2. 路線バス利用者アンケート調査

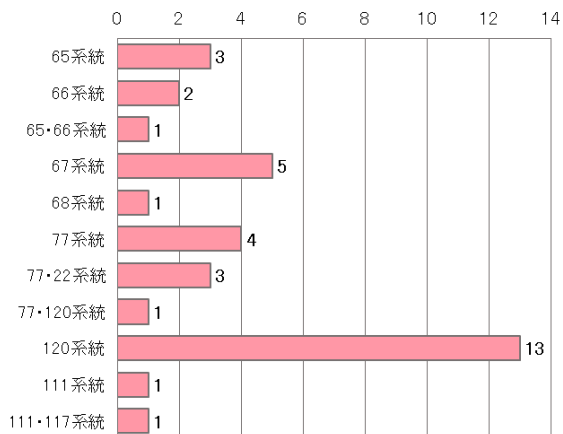
2.2 集計結果

- アンケートに回答した人の割合として、名護バスターミナルを利用する方からの回答が最も多くなっています

②名護市内の路線バスについて

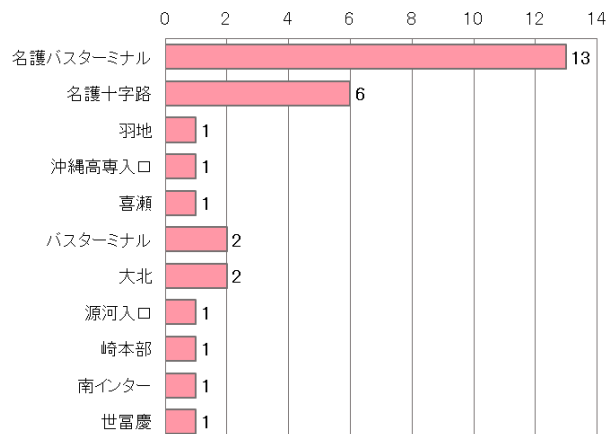
2-3-1① 系統

n=35



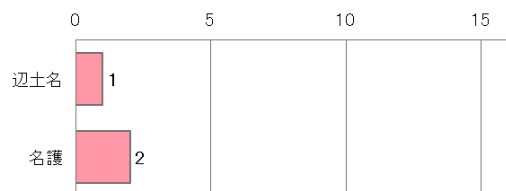
2-3-2① 乗車バス停

n=30



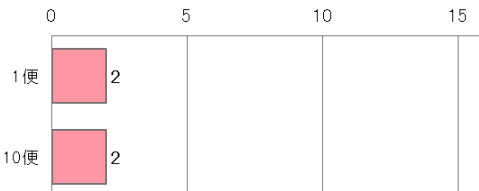
2-3-1② 終点【】行

n=3



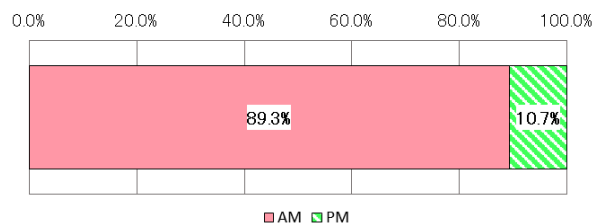
2-3-2② 便番

n=4



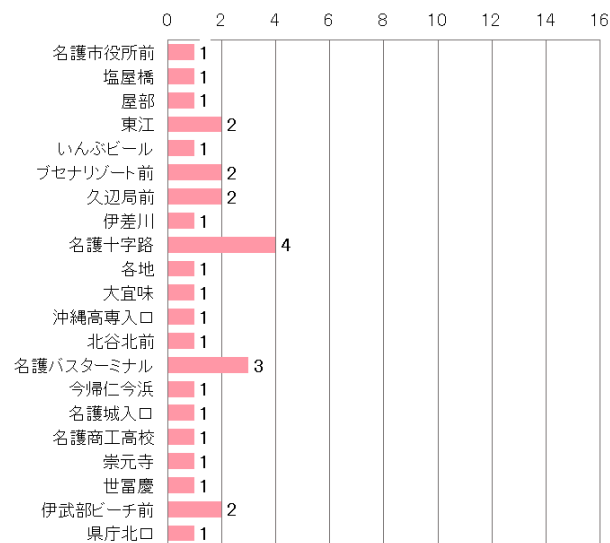
2-3-2③ AM/PM

n=28



2-3-2⑤ 降車バス停

n=30

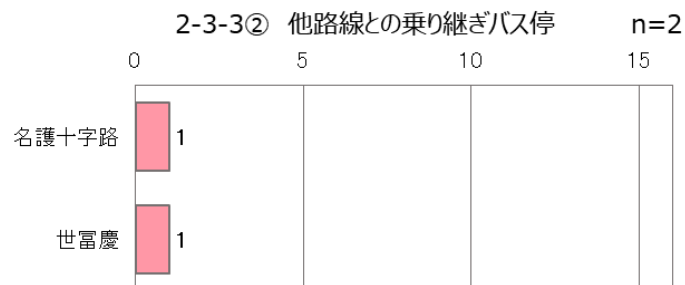
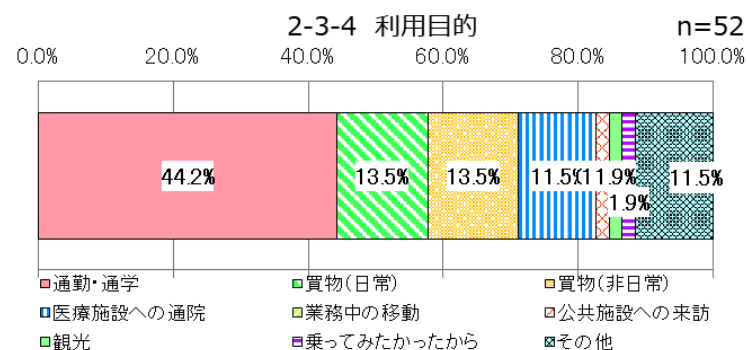
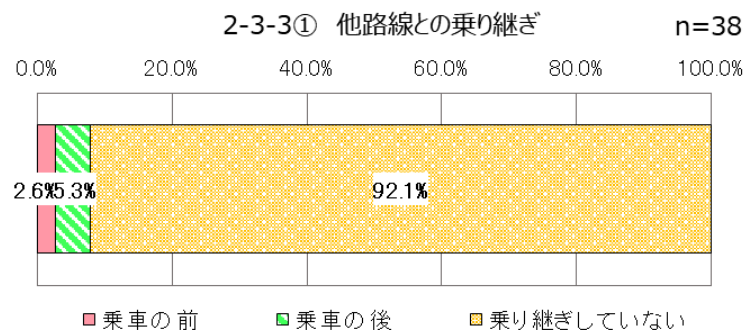


2. 路線バス利用者アンケート調査

2.2 集計結果

- 利用目的は通勤・通学が最も多く44.2%となっており、次いで、日常的な買い物、非日常的な買い物がそれぞれ13.5%となっています

②名護市内の路線バスについて



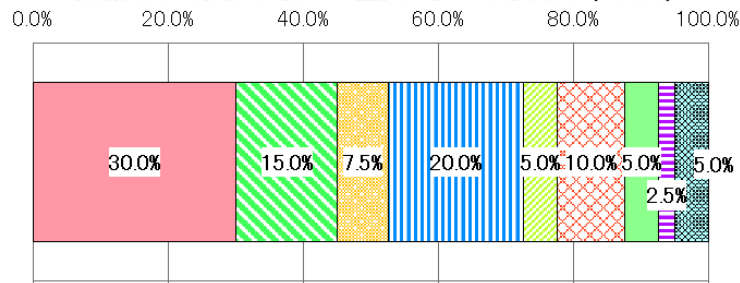
2. 路線バス利用者アンケート調査

2.2 集計結果

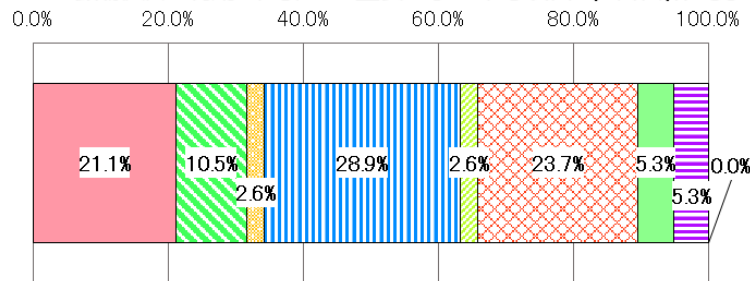
②名護市内の路線バスについて

- 路線バスが利用されるために重要と考えられる項目については、運行時間（頻度）が最も重要と考えている人の割合が高く、定時性や運行ルートも重要と考える人も比較的多い傾向にあります

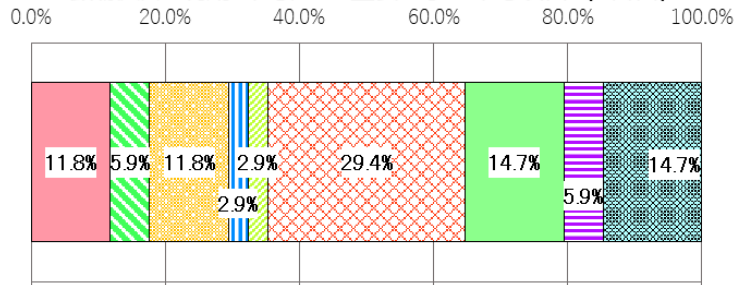
2-4 路線バスが利用されるために重要と考えられる項目（1番目）n=40



2-4 路線バスが利用されるために重要と考えられる項目（2番目）n=38



2-4 路線バスが利用されるために重要と考えられる項目（3番目）n=34



- 運行時間(運行頻度)
- ダイヤ設定(ダイヤのわかりやすさ)
- 運行時間(始発便と最終便)
- 定時性(ダイヤに正確な運行)
- 目的地までの所要時間(乗車時間)
- 運行ルート(ルート、バス停の位置)
- バス停環境(時刻表・案内板の見やすさ等)
- 車両環境(乗り心地・車両デザイン等)
- 運行全般について(総合的に評価した場合)

2-4② 具体的な改善点など

商業地(バイパス)を通ってほしい
時間に遅れないでほしい
時間を守ってほしい
車内の清掃を綺麗にしてほしい
那覇交通は乗務員証を提示している人が多いが、沖縄バス交通は少ない
同じ系統番号でもルートや停車するバス停が異なることがあるので、シンプルでわかりやすくしてほしい
バス停を快適に、日陰やベンチに気を使ってほしい。商業施設、図書館、公園等の近くに、気を使ってほしい。運転手の健康管理や福利厚生に、気を使ってほしい。
運行間隔を短めにしてほしい
喜瀬からイオンに行きたいが路線がない。設けてください。
1時間以上バスが来ない時と、77・22が同時に来る時がある。もっと平均化してほしい。
十字路⇒名護バスターミナルまでの帰りの本数がわからない。十字路や名護バスターミナル⇒イオンあたりの巡回バス(小型でいい)
路線バスのドライバーは気が荒く怖いイメージがあるので、バスに乗るときは緊張する。せめて、挨拶を返してもらいたかったです。(できたら笑顔で)
コマーシャル(特に予言)が不快。もっと窓を開けてほしい。
時間正確
バスをたくさん増やしてほしい
停留所の案内板を大きくして見つけやすくしてほしい
高速バスの終バスがもっと遅い時間まであるとうれしいです。
始発のバスターミナルでも定時に出発しない。それが沖縄なのかもしれないが他では考えられない。
屋根のないバス停で大雨の時待っている間困ります。

3. 学生Webアンケート調査

3.1 調査概要

(1) 実施概要

- 名護市では、市民の皆様にとって、公共交通をより利用しやすいものとするため、新たな交通計画の策定を進めております。この計画の検討にあたり、名護市内の学生の皆様の公共交通に関するご意見・ご要望を把握するため、以下の調査を実施した。

配布対象 : 名護高校、名護商工高校、北部農林高校、
沖縄工専、名桜大学の在校生

調査方法 : Webアンケート

郵送日 : 2021年10月15日（金）

回収期限 : 2021年10月31日（日） 約2週間

(2) 回収状況

- 回収状況は以下のとおり。（速報値）

回収締切 : 2021年10月28日（木）

回収票数 : 396票

(3) 整理の方針

- 各学校ごとに集計した結果を参考資料に整理しています。
- 今後は、名護市全体として公共交通へのニーズや、学校ごとの主な課題など、詳細に整理を進めて計画に反映することを想定しております。

4. 区長アンケート調査

4.1 調査概要

(1) 実施概要

- 地域公共交通計画の策定に向け、各地域における公共交通に関する現状や課題を具体的に把握し、基本方針検討の基礎資料として、また、名護市の今後の将来像の検討等を行う際に活用するため、以下の調査を実施した。

配布対象	： 各区の区長を代表としてアンケート調査
調査方法	： 各区長会にて配布、FAX等により回収
郵送日	： 2021年10月15日（金）
回収期限	： 2021年11月5日（金） 約2週間

(2) 回収状況

- 回収状況は以下のとおり。（速報値）

回収締切	： 2021年11月5日（金）
回収票数	： 37票
回収数	： 67%

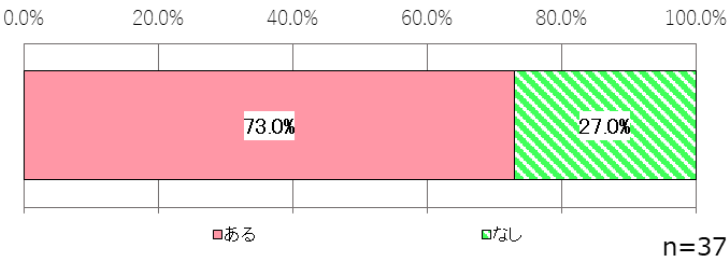
4. 区長アンケート調査

4.2 集計結果

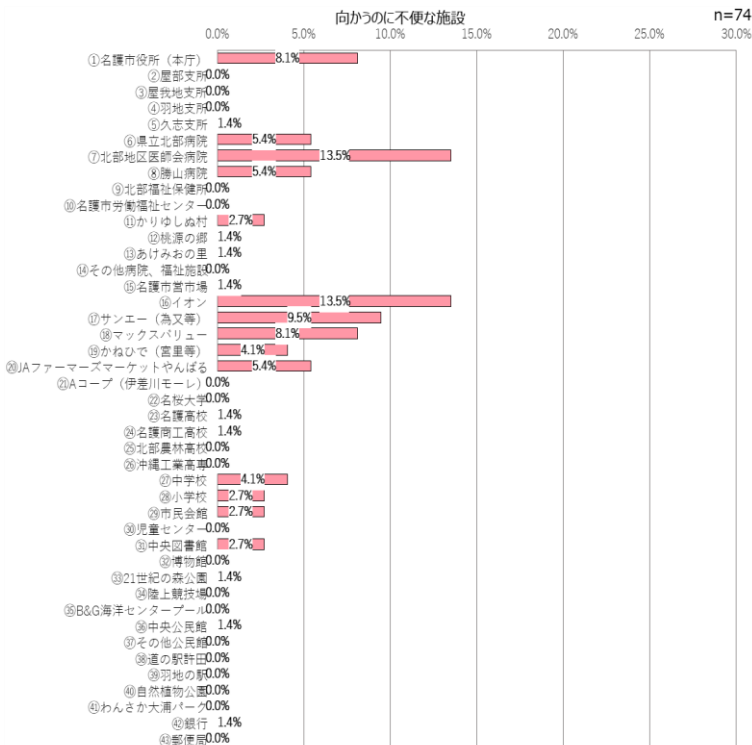
- 公共交通で行くのに不便である施設では、北部地区医師会病院とイオンが13.5%と最も高く、次いでサンエー（為又等）が9.5%、名護市役所（本庁）とマックスバリューがそれぞれ8.1%となっており、いずれも路線バスでのアクセスが難しい施設となっています

②地区の中で「〇〇へ行くには公共交通が不便」という声がある、又はそう思う地域

地区の中で「〇〇へ行くには公共交通が不便」という声の有無

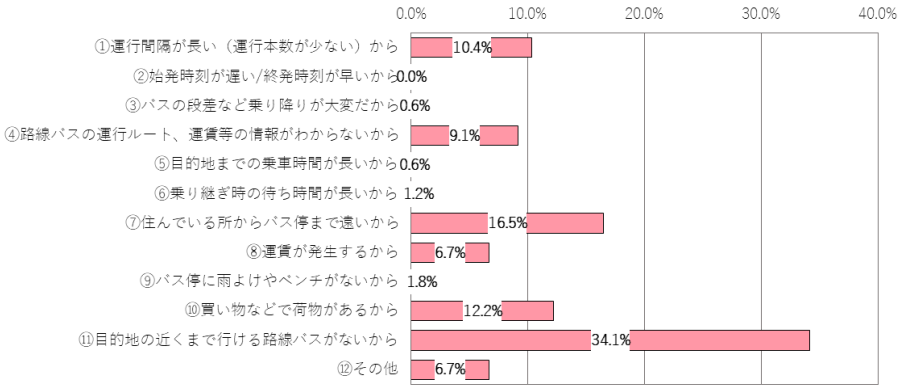


n=37



向かうのに不便な理由

n=164

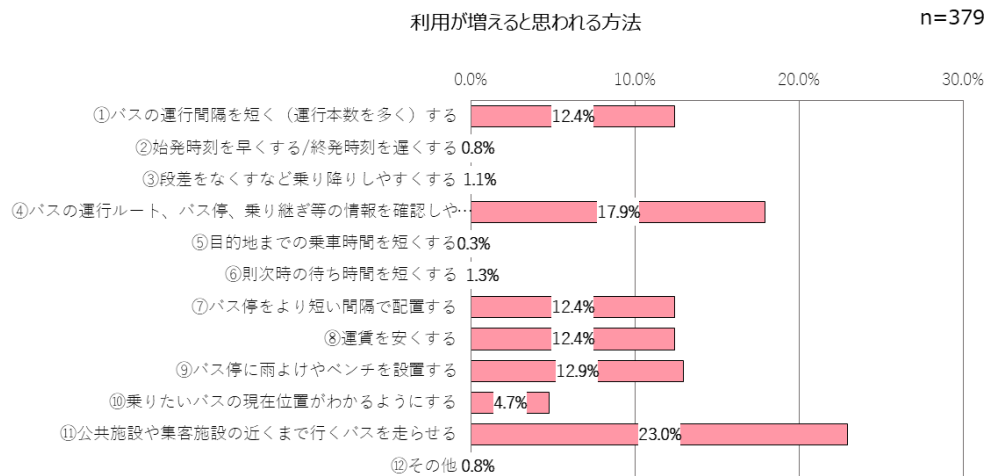
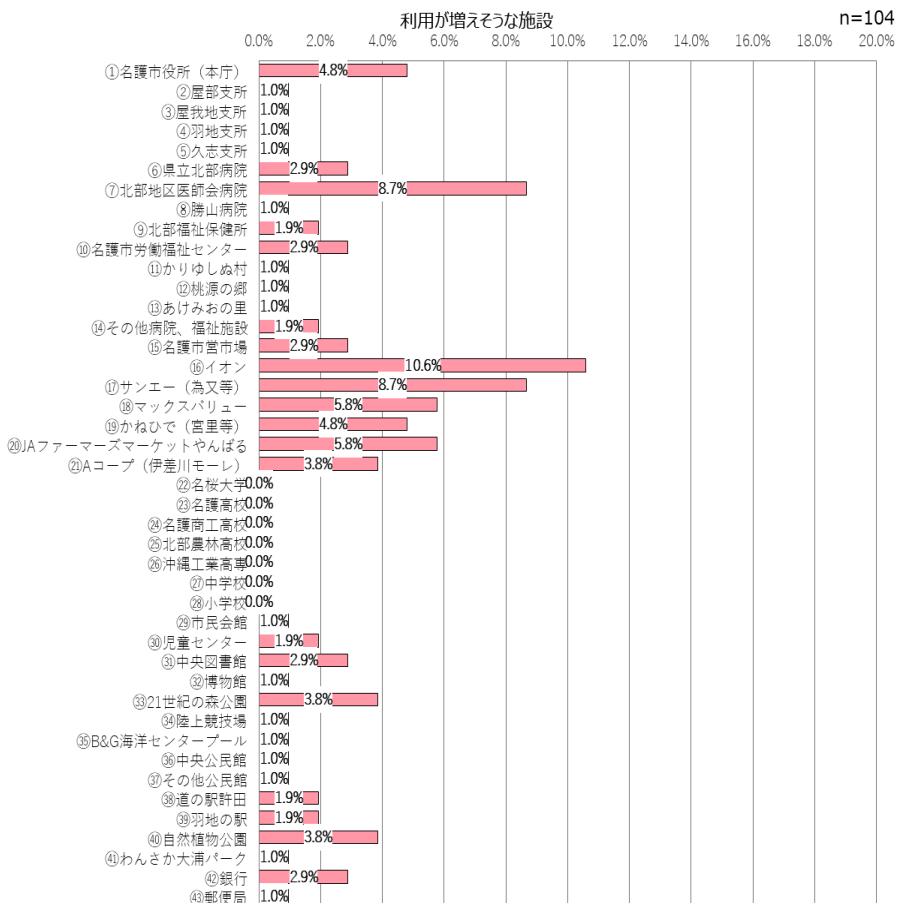


4. 区長アンケート調査

4.2 集計結果

- 路線バスニーズが高いと考えられる施設は、イオンが10.6%と最も高く、次いで北部地区医師会病院、サンエー（為又等）が8.7%となっており、全体的にみると商業施設が高い傾向にあります
- 利用を増やすための方法としては、施設までバスを走らせるが最も高く23.0%となっています

③ どうすれば路線バスの利用が増えるか



5. 施設等アンケート調査

5.1 調査概要

(1) 実施概要

- 地域公共交通計画の策定に向けて、名護市民の移動実態 及び 公共交通（路線バス）の利用実態を把握し、課題を整理する。また、新たな施策の検討に向けて、各施策に対する市民のニーズを確認するため、以下の調査を実施した。

(2) 調査対象

対象	配布対象団体・施設名			回収状況
交通事業者	・琉球バス交通 ・やんばる急行バス ・名護タクシー	・沖縄バス ・丸金交通 ・第一マリンサービス	・北部観光バス ・北部観光タクシー	名護タクシーを除き回収済
高齢者施設・団体	7 施設及び団体			4 施設及び団体から回収済み
障がい者団体	5 施設及び団体			2 施設及び団体から回収済み
商業施設	7 施設			2 施設から回収済み
病院	9 施設			6 施設から回収済み
観光	観光協会 及び 8 施設			3 施設から回収済み
学校（ヒアリングにより実施）	名護市内の全高校・高専・大学			名護高校、名護商工高校 北部農林高校、名桜大学から回収済み
交通拠点	3 施設			3施設から回収済み
その他	名護市担当課、屋我地・久志支所、国道事務所 等			今後各ニーズ調査や施策展開を踏まえて実施内容を検討

5. 施設等アンケート調査

5.2 集計結果

(1) 交通事業者

項目	主な意見
名護市内の交通体系に関する課題	・ 名護以北の路線すべてが赤字路線となっており、公共交通維持の面で不安 ・ 北部の玄関口として、名護市内の交通体系は北部地域の広域的なネットワークとの連携が必要 ・ 交通結節点の整備（上屋や待合室の設置など）が必要 ・ 名護市の最新の人流の変化にあわせた、バスターミナル拠点の位置見直しが必要（R58等） ・ 行き先やルート等の路線バスのわかりやすさが必要 ・ 名護市中心部への路線バスの供給がない ・ 路線バスとタクシーどちらも利用できる交通ステーションが存在しない ・ 行政が「交通まちづくり」に積極的に関与していく必要がある ・ 住民の自動車への依存度が非常に高い
交通事業運営に関する課題	・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、益々路線維持帰属が困難な状況にある ・ 採算性だけでなく、乗務員（バス）・運転手（タクシー）の不足・高齢化といった課題もある ・ 変動の激しい交通渋滞等の道路状況への対応 ・ 公共（国、県、各自治体）がクルマが移動手段の根幹との認識を前提としていていると感じている ・ タクシーは乗り場が不足しており、バスとの連携が難しい
公共交通事業の利用促進に向けた意見	・ 地域の生活において公共交通の利用が高まる具体的な取り組みが必要 ・ コミュニティバスと既存バスとの乗り継ぎに対する割引負担 ・ モビリティ・マネジメントのような取り組みを継続的に行い、市民の公共交通利用の機運を高める ・ バス利用が困難な方を対象としたラスト1マイルとしてのタクシー利用の促進

5. 施設等アンケート調査

5.2 集計結果

(2) 高齢者関係、障がい者関係

項目	主な意見
公共交通に関する 課題・意見	・ バス停留所に屋根、椅子を設置してほしい ・ バスの到着時間のアナウンスがあると良い ・ ノンステップバスや車いす利用者が乗降できるバスを導入してほしい ・ 高齢者向けのフリーパスなどがあると良い ・ 役所や病院など施設の開閉時間に合わせたダイヤの設定にしてほしい ・ 自宅からバス停までの距離が遠いため停留所位置を検討してほしい ・ 運行ルートや運行ダイヤを高齢者でも見やすくなるよう工夫してほしい ・ 運行頻度をあげてほしい
実証実験に関する意見	・ コミュニティバスの運行範囲を拡大してほしい ・ デマンドタクシーの在り方は改善の余地があると感じている
その他 (施策など)	・ 利用頻度の高い商業施設の送迎バスをクリニックの送迎バスと連動する形で整備したら良いのではないかと ・ タクシー料金の負担軽減

5. 施設等アンケート調査

5.2 集計結果 (3) 商業施設

項目	主な意見
公共交通でのアクセスに関する課題・意見	- 施設の近くにバス停が存在しない - 中南部からの客に対して、近くのバス停を聞かれた際に回答することが難しい
公共交通以外でのアクセスに関する課題・意見	北部地域への外国人アクセスのほとんどがレンタカーとなっている
実証実験に関する意見	- 買物をする場がない久志や東海岸地域、宇茂佐等の地域から来店する人が増えた - 利用者はお年寄りから子連れ、免許をも持たない若者など幅広い
その他 (施策など)	- イオンへのバス乗り入れは市民の生活利便性を高めることに繋がるのではないか - イオン名護店をあらゆる公共交通の結節点としてはいかがか

(4) 病院

項目	主な意見
公共交通に関する課題・意見	- 最寄りのバス停が病院から遠いため公共交通を利用して来る人が殆どいない - 病院まで路線バスが通っていない - 徒歩含め、自家用車以外の交通手段がない
実証実験に関する意見	- コミュニティバスのルートに当院も含めてほしい - コミュニティバスを今後も継続してほしい

5. 施設等アンケート調査

1.5 施設等アンケート調査結果

(5) 観光施設

項目	主な意見
公共交通に関する 課題・意見	・ 高速バスを利用して那覇方面から来る方から、「バス停が遠い」、「路線バスの乗り継ぎが面倒」と聞いている ・ バスルートがわかる案内図や見やすい時刻表が必要ではないか ・ ホテルが必要としている時間にタクシーが人手が足りず来れないことがある
外国人の施設アクセスに 関する課題	・ 外国人が道に迷ってしまった場合のフォローが難しい
実証実験に関する意見	・ 昨年度のコミュニティバスと比べて、ルートが複雑になったと感じる
その他 (施策など)	・ 観光地へのアクセスの良いバス路線ルート ・ 施設の出入り口付近が慢性的に渋滞している

5. 施設等アンケート調査

1.5 施設等アンケート調査結果

(6) 学校

項目	主な意見
通学に関する課題・意見	・ 路線バスは運行本数が少ないためあまり利用されていない印象 ・ 定時性が問題で使いづらいという意見がある。バスの遅延で遅刻する場合も多い ・ 通学は送迎が多い（一部近隣住民からの苦情がある学校もあり） ・ バス通学は本部や今帰仁方面からが多い
通学以外の生徒の移動に関する課題・意見	・ 土日の部活は送迎バスで対応している ・ アルバイトの移動は徒歩が殆どだと思われる ・ 帰りの寄り道はイオンなどが多い
実証実験に関する意見	・ アピールをもう少しすべきと感じている ・ 送迎バスとコミュニティバスが接続できるようにすれば良いと思う
その他 (施策など)	・ レンタサイクルの活用 ・ アルバイトは近年増えている傾向にある。

(7) 交通拠点施設

項目	主な意見
実証実験に関する意見	・ 名護市内のコミュニティバスが出来たことで高齢者が町に出やすくなったと感じている ・ コミュニティバスの利用率を上げるため、宣伝・広報に力を入れると良いと思う ・ 羽地地域への拡大を行ってほしい ・ 地元の人がもっと利用できるよう、コミュニティバスの路線を拡大してほしい

5. 施設等アンケート調査

集計結果

(7) 交通拠点施設

項目	主な意見
実証実験に関する意見	・ 名護市内のコミュニティバスが出来たことで高齢者が町に出やすくなったと感じている ・ コミュニティバスの利用率を上げるため、宣伝・広報に力を入れてると良いと思う ・ 羽地地域への拡大を行ってほしい ・ 地元の人がもっと利用できるよう、コミュニティバスの路線を拡大してほしい